

内閣総理大臣 小泉純一郎 様
厚生労働大臣 尾辻秀久 様

原爆被爆二世の援護を求める署名

全国被爆二世団体連絡協議会

1945年8月6日、9日の原爆は20万人以上の人々を殺傷したばかりか、生き残った被爆者にも放射線による後遺症という苦しみを背負わすことになりました。しかも、原爆の恐怖は被爆者のみに止まらず、それらの被爆者を父や母・祖父母として生まれた「被爆者の子ども・孫」、すなわち「被爆者二世・三世」の問題として引き継がれていきました。

原爆被爆二世は、今、全国に30万人とも50万人ともいわれています。被爆者と同じような苦しみ、悩みはそのまま未来世代へと引き継がれてきています。

これまで、政府・厚生労働省は被爆二世・三世の健康実態調査を拒み、対策をおろそかにしてきました。被爆二世にたいする国の施策もわずかに年1度の健康診断がなされているにすぎません。

わたしたちは、原爆被爆二世の援護を進めるために、以下のことを求めます。

記

「被爆者援護法」を国家補償と被爆二世への適用を明記した「被爆者援護法」に改正すること。

- ① 被爆二世健康診断にガン検診を加え、充実させること
- ② 健診の結果に応じた医療措置をおこなうこと。
- ③ 被爆二世の実態調査を行い、被爆二世へ「被爆二世健康手帳」を発行すること。

名 前	住 所

取り扱い 団体	
------------	--

第一次集約：2006年8月末

署名集約先：ヒバク反対キャンペーン 〒591-8691 堺市北区堺金岡郵便局 私書箱17号